

# 2025 年期 第 2 回課題研究テーマ（東京補習所）

## 28 班～36 班

テーマ	<p>あなたは上場準備会社の監査チームの主査（インチャージ）です。会社は通信販売業を営んでおり、X6 年 3 月 31 日を N-1 期とするスケジュールで上場を目指しています。商流はメーカーから消費者へ直送するパターンに加え、よく売れる商品は倉庫を賃借し多少の外部在庫を持っています。期中の視察において、倉庫に古い型の在庫が一定程度存在しており、評価の妥当性が会計上の論点になることを会社に指摘していました。</p> <p>X6 年 3 月 10 日に開かれた会社、証券会社、監査法人の 3 社ミーティングの場において、証券会社担当者から「出来れば当期の経常利益が目標通り 1000 万円に乗つかると良いですね。」との話がありました。</p> <p>X6 年 4 月 15 日に会社から試算表を入手したところ、経常利益が 1005 万円となっていました。</p> <p>季節トレンドはほとんどない会社で、売上高は月に 1000 万円前後です。3 月の月次売上高はほかの月と比べて数%高いものの、通常ありうる振れ幅に収まっています。</p> <p>3 月に会社近くの新たな外部倉庫と契約しており、早速在庫が計上されていました。この在庫は普段在庫として持っている商品と同じ型ですが、仕入先は新規取引先です。</p> <p>X6 年 3 月末決算監査にあたり、どのような不正リスクを識別するか検討し、対応手続を立案してください。</p> <p>なお、文章中にはない状況については、一定の仮定を設定してよいものとします。</p>
-----	---